

## 第2回定例記者会見（R7.8.27）市長発言

本日はご多忙のところ、報道機関の皆様にはお集まりいただき、本当にありがとうございます。

それでは、お配りした資料に従って発表に移らせていただきます。

始めに次第の「(1) さくら市学校給食センターの開所について」

です。資料1をご覧ください。

令和6年3月より整備工事を進めていた、さくら市学校給食センターが7月末に竣工しました。8月の試運転等を経たうえで、9月1日から市内全ての小中学校への配食をスタートします。

鉄骨造2階建て、延床面積2858.00㎡の施設で、いわゆるドライシステムを採用しており、1日4,000食と、アレルギー対応食80食の調理能力をもっています。

供用開始に先駆けて、8月29日午前10時から、来賓をお招きして、同所でオープニングセレモニーを開催いたします。

マスコットキャラクター及びキャッチフレーズも決定しました。マスコットキャラクターはさくら市全ての小中学校の児童生徒から募集し、「さくらこ」が誕生しました。「さくらこ」は給食用食器や配

送用トラックにプリントされ、学校給食の啓発活動に活用されます。  
キャッチフレーズは市内教職員から募集しました。「おいしい、楽しい、まちどおしい！地域とつながる、さくランチ」です。

献立には市内の生産者の皆さまの御協力をいただき、地場産物を積極的に取り入れ、児童生徒が地域の魅力や食文化について学ぶ機会につなげて参ります。

続きまして、**「(2) さくら市20周年記念さくら市マラソン大会の開催について」**です。資料2をご覧ください。

令和5年、6年と2大会にわたり2月に開催していたマラソン大会を、今年度は10月13日の月曜日、祝日のスポーツの日に開催いたします。

さくら市総合公園さくらスタジアムを中心に、総参加者6部門で800人を越える参加者があり、更にゲストランナーは日本唯一の陸上競技、中距離プロチームをお招きします。世界陸上にも出場した選手も参加いたします。

また、私自身も5キロ部門にエントリーします。参加者の皆様と一緒に、楽しくケガのないように完走を目指したいと思います。

続きまして、**「(3) さくら健幸(けんこう)ポイント事業について」**

です。資料3をご覧ください。

株式会社タニタヘルスリンクから提供を受けた健康管理アプリを導入し、楽しみながら「歩く」ことを中心に、市民の継続的な健康づくりを支援する「さくら健幸ポイント事業」を10月から開始します。事業の愛称は「saku歩(さくぽ)」です。

さくら市在住、または在勤の方を主な対象にしており、アプリを活用して、歩く、健康診断を受ける、血圧や体重を測るなどの健康づくりの取り組みによりポイントが貯まり、貯まったポイントで応募すると電子マネーなどが抽選で当たる仕組みとなっています。アプリには健康診断や生活習慣のデータを入力することで、将来の健康リスクをAI(エーアイ)が予測し、生活習慣の改善方法をご提案することができます。

そのアプリ等の使い方、ポイントの貯め方などの説明会を9月に氏家公民館で実施しますので、たくさんのご参加をお待ちしております。

次に、さくら市のイベント出展に関する発表が3つございます。

資料4 **「(4) 楽天超ふるさと納税祭(らくてん・ちょう・ふるさ**

## とのうぜいまつり)」

資料5 「(5) ふるさと回帰フェアへの出展について」

資料6 「(6) ベリテンライブへの出展について」です。

詳細は資料をご覧くださいと思いますが、東京ビックサイト、ふるさと納税として初めて東京国際フォーラムへの出展、そして

栃木県民としてはおなじみの県内最大級の音楽フェスで、前年は2万人越えの動員数を記録野外音楽フェスベリテンでオリジナルグッズを用意したプロモーションをこちらも初めて行います。出展だけでなく新たなオリジナルグッズなども取り上げていただければと思います。

以上をもちまして、私からの記者発表とさせていただきます。報道機関の皆様には、今後とも「さくら市」の事業を広く情報を発信していただきますよう、引き続きよろしく願いいたします。